

DINO DE LAURENTIIS
PRESENTS

**CHARLES
BRONSON**

IN A MICHAEL WINNER FILM

**"DEATH
WISH"**



チャールズ・ブロンソン
ビンセント・カーディニア／ウィリアム・レッドフィールド
ホープ・ラング

私立警察か
夜の私刑者か
妻の面影、娘の涙を
心に抱いて――
さすらいの狼が
仕掛けた闇の罠！



＜カラー作品＞

狼は心ざし

コロムビア映画



監督＜ス・コルピオ＞の
マイケル・ウィナー
製作総指揮＜シンジケート＞の
ディノ・デ・ラウレンティス
(原作邦訳)早川書房刊
(サントラ盤)CBS・ソニー

この映画の音楽を担当した
ハービー・ハンコックのこと

マイルス・デイビスのグループに
ピアニストとして入り注目されたのが
63年。『ウォーターゲートマン』の
大ヒットの後、66年にアントニオ
ニーの『欲望』で初めて映画音楽を
手がけて成功。翌67年にマイルスと
別れ自分のグループを結成した。

74年『ヘッド・ハンターズ』が全
世界でヒット、不動の地位を築き、
今日、ワラッタ・ファンタ・ニュー
ジックの覇者として君臨している。

"DEATH WISH"

＜カラー作品＞コロムビア映画



狼よさらば

▼お話は――

舞台は、犯罪の温床といわれるニュー
ヨーク。ブロンソンは建築会社の幹部ビ
ジネスマン、幸せな家庭におとずれた突
然の不幸――妻と娘が三人組の暴漢に襲
われ、妻は惨殺され、一人娘は犯された
シヨックから精神病院へ……
この事件の直後、友人から贈られた拳

作品にも恵まれ、人気も抜群、意欲的、精
力的に映画に取り組み、ダイナミックな活躍
をしているチャールズ・ブロンソン。「スコル
ピオ」のマイケル・ウイナー監督、「シンジケ
イト」のプロデューサー、ディノ・デ・ラウレ
ンティスとのチームで製作された最新作『狼
よさらば』は、今アメリカで大ヒットをして
いる。

▼この迫力

この映画のファーストシーン。部屋に闖入
し、殺人と強姦を働く凶悪犯の暴力シメンの
凄じさ。地下鉄や人気のない街路での強迫暴
行シーン。そして、その犯罪者たちを処刑し
て行く「狼」の殺人行動。
それらがニューヨークの実景の中でくりひ
ろげられるのだから、その迫真性は圧倒的。
一人住いの女性が連続的に襲われたり、爆弾
事件が相次いだりの日本。フィクション以
上の迫力を感じずにはいられない。

▼映画評論家の声――増淵 健氏

――前略――

この作品がユニークなのは、復しゅうとし
ての無差別殺人“を描いたことではなく、ポ
ール（チャールズ・ブロンソン）がどんな形
でも裁かれないラストを設定したことである。
それも、彼に共感した警部が、証拠品のピ
ストルを川に捨て、事件をもみ消すのだから
徹底している。つまりポールの殺人は正当で
あり、必要悪以上のものという発想なのだ。

――中略――

ポールは警察という名の権力を信しない男
であり、自からの手で裁きを下すことに使命
を抱いている。この考え方は、アメリカ人が
国づくりの過程で体得したもので、いわば「自
警の論理」とてもいいうべきだろう。

――中略――

「狼よさらば」は、もっとも今日的な意味で
のアメリカ映画なのだ。

【共同通信・芸能放送特信G版より抜粋】

11月23日(土)よりロードショー

伊勢丹前

ビレッジII (351) 3129